



平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月11日

上場会社名 株式会社 クロニクル 上場取引所 JQ
 コード番号 9822 URL <http://www.chronicle-net.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 天野 裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 久保田 峰夫 (TEL) 03 (5771) 1200
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の連結業績（平成21年10月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	2,631	△2.6	△540	—	△534	—	△322	—
21年9月期第3四半期	2,701	△12.0	△315	—	△460	—	△2,122	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年9月期第3四半期	△0	72	—	—
21年9月期第3四半期	△4	74	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
22年9月期第3四半期	5,847	5,543	5,543	5,543	94.8	12	38	
21年9月期	6,368	5,950	5,950	5,950	93.4	13	29	

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 5,543百万円 21年9月期 5,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年9月期	—	—	0	00	—	—	0	00	0	00
22年9月期	—	—	0	00	—	—	—	—	—	—
22年9月期(予想)	—	—	—	—	—	—	0	00	0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年9月期の連結業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,600	△1.5	△650	—	△550	—	△500	—	△1	12

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 ー 社（社名）、除外 ー 社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期3Q	447,692,131株	21年9月期	447,692,131株
22年9月期3Q	16,251株	21年9月期	16,051株
22年9月期3Q	447,675,947株	21年9月期3Q	447,676,897株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により上記予想数値とは大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、世界的な金融危機に端を発した同時不況の影響から徐々に持ち直し、輸出と生産に若干の改善の兆しが見られるものの、雇用環境及び所得環境は依然として厳しく不透明感が残る経済環境が続いております。

このような情勢の下、当社グループの事業展開は株式会社クロニクルの投資事業、株式会社アメイジングバリューによるリセール・オークション事業及び株式会社ドゥーズによる正規品販売事業として業態の住み分けを明確にした宝飾品事業、株式会社エーディーアンドディー及び株式会社ビジネスアルファ24によるWEB情報事業により営業展開を図っております。

また、平成20年12月25日開催の第29期定時株主総会におきまして、当社の宝飾品事業を吸収分割にて、高級輸入時計部門を株式会社アメイジングバリューへ、ジュエリー部門を株式会社ドゥーズへ継承する旨の契約の承認を行い、平成21年2月1日付をもって両社へ分割継承行いました。

これにより当社は、投資事業を中心とする持株会社体制へと変貌を遂げる事となりました。

しかしながら、当第3四半期連結会計期間における業績は、若干の回復が見られるものの、長引く不況等、経済環境の悪化による影響を受ける形となり、厳しい経営環境に置かれております。

その結果、宝飾品事業全体の売上高は、現在の経済情勢の影響を受ける厳しい営業展開を余儀なくされた結果、売上高は224百万円に止まりました。

投資事業におきましては営業投資有価証券の現物売買取引を中心に営業展開を行った結果、売上高は9百万円となりました。

WEB情報事業におきましては、結婚情報サイト「ピュアアイ」事業を中心に各種WEB広告事業の他、新たな事業展開として通信販売事業に注力した結果、売上高は618百万円となりました。

以上の結果、売上高につきましては、852百万円（前第3四半期連結会計期間は売上高929百万円であり、前第3四半期連結会計期間比8.3%減）、営業損失におきましては、商品評価損126百万円の計上、通信販売事業の積極的展開等に伴う広告宣伝費117百万円等の計上により△222百万円（前第3四半期連結会計期間は営業損失△126百万円）となりました。

経常損失におきましては、為替差損38百万円等による営業外費用38百万円の計上により△255百万円（前第3四半期連結会計期間は経常損失△177百万円）となりました。

四半期純損失におきましては、有価証券売却益112百万円及び貸倒引当金戻入額114百万円等の特別利益の計上により△60百万円（前第3四半期連結会計期間は四半期純損失△682百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

[宝飾品事業]

利益率向上を目的とし、高級輸入時計を中心とする、リセール・オークション事業や国内における小売営業展開を積極的に行い、シェア拡大・向上に務めました結果、売上高は224百万円（前第3四半期連結会計期間は売上高143百万円であり、前第3四半期連結会計期間比56.4%増）、営業損失は商品評価損126百万円等の計上により△182百万円（前第3四半期連結会計期間は営業損失△84百万円）となりました。

[投資事業]

昨今の経済事情を鑑み、慎重に資金運用した結果、売上高は9百万円（前第3四半期連結会計期間は売上高97百万円であり、前第3四半期連結会計期間比90.0%減）、営業損失は△3百万円（前第3四半期連結会計期間は営業損失△26百万円）となりました。

[WEB情報事業]

結婚情報サイト「ピュアアイ」の運営、WEB広告等を積極的に展開した結果、売上高は618百万円（前第3四半期連結会計期間は売上高688百万円であり、前第3四半期連結会計期間比10.2%減）、営業利益は通信販売事業の積極的展開による広告宣伝費の増加等により84百万円（前第3四半期連結会計期間は営業利益24百万円であり、前第3四半期連結会計期間比252.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債及び純資産の状況

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて520百万円減少し、5,847百万円となりました。資産減少の主な内容は、ファンドの精算等に伴う営業投資有価証券244百万円の減少及び商品評価損の計上等に伴う商品241百万円の減少並びに償却に伴うのれん136百万円の減少等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて113百万円減少し、304百万円となりました。負債減少の主な原因は、賞与引当金繰入額の減少に伴う賞与引当金29百万円の減少及び有価証券評価差額金の減少に伴う繰延税金負債59百万円の減少等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて407百万円減少し、5,543百万円となりました。純資産減少

の主な原因は、有価証券評価差額金84百万円の減少及び四半期純損失△322百万円の計上によるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第3四半期連結会計期間末に比べ15百万円(2.5%)減少し、612百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は、前第3四半期連結会計期間に比べ237百万円(2,655.4%)増加し、228百万円となりました。

これは主に、たな卸資産の減少額191百万円、営業投資有価証券の減少額52百万円、未収入金の減少額34百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、前第3四半期連結会計期間に比べ28百万円(65.4%)減少し、14百万円となりました。

これは主に、貸付けによる支出△22百万円、貸付金の回収による収入10百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加若しくは使用した資金はありません(前第3四半期連結会計期間は0百万円の使用)。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月12日に公表致しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

固定資産に係る減価償却費のうち定率法により算定するものについては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、4期連続して営業活動によるキャッシュ・フローのマイナスの状況が続いております。また、3期連続して営業損失並びに大幅な当期純損失を計上しております。

これにより当社グループには、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

さらに、第1四半期連結会計期間及び第2四半期連結会計期間においてもキャッシュ・フローのマイナスの状況が続き、かつ、営業損失及び四半期純損失を計上しております。

なお、当第3四半期連結会計期間においてはキャッシュ・フローの状況はプラスとなっておりますが、営業損失及び四半期純損失を計上するに至っております。

このように当社グループは依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべくWEB情報事業の拡大及びM&Aや事業譲受等の事業拡大・強化の計画により売上高と利益率の向上を図っております。

具体的な施策としましては、WEB情報事業の新規情報配信コンテンツの立ち上げやWEB広告、WEB通販の拡大による新たな顧客層の獲得、販路の拡大、また、今後想定しております収益性を重視したM&A等による事業拡大により、売上及び収益の拡大を見込んでおります。

今後は関連会社の拡大・安定した収益の取り込みによる増収増益及び海外リセール・オークション事業の再開及びWEB販売により新たな顧客層の獲得による宝飾品事業の回復安定化を行ってまいります。

上記の諸策により、売上高及び利益の増加を見込んでおり、重要な不確実性も認められません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	612,917	527,760
売掛金	297,941	356,741
営業投資有価証券	※1 66,785	※1 310,898
営業出資金	750,475	738,388
営業貸付金	308,000	308,000
商品	1,003,366	1,245,337
繰延税金資産	8,635	25,019
その他	102,566	109,732
貸倒引当金	△56,626	△118,268
流動資産合計	3,094,062	3,503,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	57,103	53,115
減価償却累計額	△12,502	△10,024
減損損失累計額	△2,196	△250
建物及び構築物(純額)	42,404	42,840
工具、器具及び備品	93,075	93,075
減価償却累計額	△76,338	△72,686
減損損失累計額	△9,695	△9,695
工具、器具及び備品(純額)	7,041	10,693
車両運搬具	4,830	4,830
減価償却累計額	△2,570	△2,307
減損損失累計額	△2,259	—
車両運搬具(純額)	—	2,522
土地	75,445	75,445
有形固定資産合計	124,891	131,502
無形固定資産		
のれん	1,860,038	1,996,677
その他	162,151	187,998
無形固定資産合計	2,022,189	2,184,676
投資その他の資産		
投資有価証券	37,719	26,404
長期貸付金	11,105	6,038
長期未収入金	867,338	890,827
破産更生債権等	366,515	362,351
その他	110,628	108,958
貸倒引当金	△786,532	△845,520
投資その他の資産合計	606,775	549,060

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
固定資産合計	2,753,856	2,865,239
資産合計	5,847,918	6,368,850
負債の部		
流動負債		
買掛金	116,812	74,879
未払金	※1 101,757	※1 127,486
未払法人税等	11,098	13,727
賞与引当金	824	29,907
繰延税金負債	1,231	—
その他	59,657	99,712
流動負債合計	291,382	345,713
固定負債		
退職給付引当金	10,841	11,215
繰延税金負債	—	59,234
その他	2,556	2,399
固定負債合計	13,397	72,849
負債合計	304,780	418,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,461,500	5,461,500
資本剰余金	5,218,220	5,218,220
利益剰余金	△5,137,851	△4,815,213
自己株式	△524	△523
株主資本合計	5,541,344	5,863,983
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,794	86,304
評価・換算差額等合計	1,794	86,304
純資産合計	5,543,138	5,950,288
負債純資産合計	5,847,918	6,368,850

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,701,557	2,631,510
売上原価	1,052,918	1,239,942
売上総利益	1,648,639	1,391,567
販売費及び一般管理費	*1 1,963,995	*1 1,931,782
営業損失(△)	△315,356	△540,214
営業外収益		
受取利息	3,332	2,872
受取配当金	604	642
有価証券売却益	—	12
受取家賃	6,364	7,196
債務戻入益	15,132	11,862
還付加算金	4,424	—
違約金収入	1,000	—
雑収入	162	600
営業外収益合計	31,019	23,186
営業外費用		
支払利息	268	118
有価証券売却損	2,937	—
有価証券評価損	665	—
為替差損	77,129	15,062
貸倒引当金繰入額	25,446	689
貸倒損失	68,907	1,531
雑損失	329	310
営業外費用合計	175,683	17,712
経常損失(△)	△460,020	△534,740
特別利益		
有価証券売却益	—	118,551
貸倒引当金戻入額	—	119,671
賞与引当金戻入額	265	11,243
受取補償金	—	2,130
その他	—	18
特別利益合計	265	251,615
特別損失		
商品評価損	125,829	—
有価証券評価損	580,949	—
出資金評価損	632,419	—
投資有価証券評価損	190,125	—
減損損失	63,087	4,204
その他	600	—
特別損失合計	1,593,011	4,204

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,052,766	△287,330
法人税、住民税及び事業税	61,774	18,869
過年度法人税等	—	53
法人税等調整額	8,411	16,384
法人税等合計	70,186	35,307
四半期純損失(△)	△2,122,952	△322,638

(第3四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	929,612	852,409
売上原価	384,790	512,534
売上総利益	544,821	339,875
販売費及び一般管理費	※1 670,984	※1 562,059
営業損失(△)	△126,162	△222,184
営業外収益		
受取利息	968	806
受取配当金	141	254
受取家賃	2,110	2,532
有価証券評価益	79	—
債務戻入益	11,508	1,893
違約金収入	1,000	—
雑収入	36	26
営業外収益合計	15,843	5,512
営業外費用		
支払利息	47	—
為替差損	19,461	38,951
貸倒引当金繰入額	25,446	—
貸倒損失	22,441	—
営業外費用合計	67,397	38,951
経常損失(△)	△177,715	△255,622
特別利益		
有価証券売却益	—	112,056
貸倒引当金戻入額	—	114,329
賞与引当金戻入額	265	1,126
受取補償金	—	30
その他	—	18
特別利益合計	265	227,559
特別損失		
出資金評価損	410,000	—
減損損失	49,309	—
特別損失合計	459,309	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△636,760	△28,062
法人税、住民税及び事業税	43,383	13,878
法人税等調整額	2,567	18,729
法人税等合計	45,950	32,607
四半期純損失(△)	△682,711	△60,670

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,052,766	△287,330
減価償却費	51,937	46,416
減損損失	63,087	4,204
のれん償却額	155,079	136,639
貸倒引当金の増減額(△は減少)	83,317	△120,629
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,190	△29,083
退職給付引当金の増減額(△は減少)	309	△374
投資有価証券評価損益(△は益)	190,125	—
受取利息及び受取配当金	△3,936	△3,514
支払利息	268	118
為替差損益(△は益)	5,514	176
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	602,327	78,197
営業出資金の増減額(△は増加)	502,969	—
営業貸付金の増減額(△は増加)	△61,552	—
売上債権の増減額(△は増加)	991,802	58,800
たな卸資産の増減額(△は増加)	28,605	241,971
仕入債務の増減額(△は減少)	56,383	41,933
未収入金の増減額(△は増加)	△565,909	16,155
その他の資産の増減額(△は増加)	35,015	5,334
未払金の増減額(△は減少)	△24,475	△25,571
その他の負債の増減額(△は減少)	△33,117	△40,054
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	△4,163
小計	30,174	119,226
利息及び配当金の受取額	2,524	2,818
利息の支払額	△268	△118
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△14,983	△6,692
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,447	115,234
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,108	△3,988
貸付けによる支出	△127,300	△57,500
貸付金の回収による収入	95,884	47,433
定期預金の預入による支出	△32	△7
定期預金の払戻による収入	—	10,078
敷金及び保証金の差入による支出	—	△1,550
その他の支出	△88,360	△14,294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,916	△19,828
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△7	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,514	△176

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△110,991	95,228
現金及び現金同等物の期首残高	739,374	517,689
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 628,383	※1 612,917

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	宝飾品 事業 (千円)	投資 事業 (千円)	WEB情報事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	143,629	97,606	688,376	—	929,612	—	929,612
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替高	6,290	4,040	22,868	2,480	35,678	△35,678	—
計	149,919	101,646	711,244	2,480	965,290	△35,678	929,612
営業利益又は営業 損失(△)	△84,700	△26,302	24,020	1,815	△85,167	△40,994	△126,162

当第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

	宝飾品 事業 (千円)	投資 事業 (千円)	WEB情報事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	224,559	9,790	618,059	—	852,409	—	852,409
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替高	1,026	3,856	1,564	1,810	8,257	△8,257	—
計	225,586	13,647	619,623	1,810	860,667	△8,257	852,409
営業利益又は営業 損失(△)	△182,347	△3,945	84,670	△7,119	△108,742	△113,442	△222,184

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)

	宝飾品事業 (千円)	投資事業 (千円)	WEB情報事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客 に対する売上 高	467,521	164,883	2,069,153	—	2,701,557	—	2,701,557
(2) セグメン ト間の内部売 上高又は振替 高	40,584	11,120	85,306	9,740	146,750	△146,750	—
計	508,105	176,003	2,154,459	9,740	2,848,308	△146,750	2,701,557
営業利益又は営業 損失(△)	△303,024	△86,701	193,266	5,487	△190,972	△124,383	△315,356

当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)

	宝飾品事業 (千円)	投資事業 (千円)	WEB情報事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客 に対する売上 高	606,174	71,717	1,953,618	—	2,631,510	—	2,631,510
(2) セグメン ト間の内部売 上高又は振替 高	8,280	11,836	28,545	8,230	56,892	△56,892	—
計	614,455	83,554	1,982,163	8,230	2,688,403	△56,892	2,631,510
営業利益又は営業 損失(△)	△282,466	△176,901	89,504	△45,039	△414,902	△125,311	△540,214

(注)

1. 事業区分の方法

事業は、宝飾品事業、投資事業、WEB情報事業、その他事業にて区分しております。

2. 各区分に属する主要な商品

事業区分	主要商品
宝飾品事業	宝飾品(高級輸入時計、宝石類)等
投資事業	営業投資有価証券、匿名組合投資等
WEB情報事業	WEB情報サイト運営、広告等
その他事業	マネージメント料等

3. 会計処理の方法の変更

前第3四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比べて、当第3四半期連結累計期間の宝飾品事業における営業損失が21,324千円増加しております。

当第3四半期連結累計期間

該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結会計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。